



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月29日

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス
 コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 竹内 義之

TEL 053-444-0054

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	29,692	10.5	2,491	7.7	2,644	8.4	1,528	5.4
2019年3月期第1四半期	26,866	7.7	2,313	11.6	2,440	10.6	1,449	11.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,725百万円 (0.7%) 2019年3月期第1四半期 1,713百万円 (12.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	80.40	
2019年3月期第1四半期	76.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	119,443	65,535	48.0
2019年3月期	119,184	64,614	47.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 57,330百万円 2019年3月期 56,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		30.00		35.00	65.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		35.00		35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,000	4.4	10,500	5.9	10,800	4.2	6,200	5.0	326.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	19,012,000 株	2019年3月期	19,012,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	6,682 株	2019年3月期	6,682 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	19,005,318 株	2019年3月期1Q	19,005,424 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	4
第1四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策により企業収益や設備投資には底堅さが見られ緩やかな回復基調で推移しました。一方、米中貿易摩擦の長期化が懸念される等、海外経済の不確実性の高まりにより、依然として先行き不透明な状況にあります。

当業界におきましても、原油価格の高騰や人手不足等、経営環境は引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第1四半期連結累計期間は、営業収益296億92百万円(前年同期比10.5%増)、営業利益24億91百万円(同7.7%増)、経常利益26億44百万円(同8.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益15億28百万円(同5.4%増)となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

(物流センター事業)

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、163億76百万円(前年同期比20.7%増)、営業利益は、18億35百万円(同17.3%増)となりました。

増収増益の主な要因につきましては、物流センター運営の充実と前連結会計年度及び当連結会計年度に受託したセンターが順次業績に寄与したこと、㈱HMKロジサービスを子会社化したことによるものであります。

また、新規受託の概況につきましては、4社の物流を受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した1社を含めた5社のうち3社稼働しております。残りの2社につきましては、2019年8月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

なお、物流センターの総数は、前連結会計年度末から1センター増加して116センターとなっております。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取組んでまいります。

(貨物自動車運送事業)

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、133億16百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は6億54百万円(同12.5%減)となりました。

営業収益につきましては、運賃値上げ交渉や連結子会社の増加による寄与はあったものの、物量の減少により、前年同期比23百万円の増加となりました。

営業利益につきましては、運賃値上げ等の効果はあったものの、特別積合事業における配達に係る外注費の増加等に伴い、93百万円の減少となりました。

今後につきましては、運賃値上げ交渉を継続して実施していくとともに、拠点ごとの配達に係る外注費の見直し等を行い、収支の適正化に向け対応をしてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(当第1四半期の状況)

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2億58百万円増加し、1,194億43百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少したことにより流動資産が2億18百万円減少したものの、設備投資により固定資産が4億77百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比6億62百万円減少し、539億8百万円となりました。これは主に、近物レックスの新倉庫建設によって流動負債のその他が増加したものの、支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少により全体では流動負債が2億18百万円減少したこと、借入金の返済等により固定負債が4億43百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比9億20百万円増加し、655億35百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益15億28百万円の計上と剰余金の配当による減少6億65百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の47.4%から48.0%へと上昇しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績見通しといたしましては、営業収益1,210億円(前年同期比4.4%増)、営業利益105億円(同5.9%増)、経常利益は108億円(同4.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益62億円(同5.0%増)を見込んでおります。

なお、軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間36百万円となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,800	14,717
受取手形及び売掛金	15,549	15,210
商品	5	5
貯蔵品	166	149
その他	1,519	1,740
貸倒引当金	△230	△230
流動資産合計	31,810	31,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,339	28,731
土地	40,514	40,514
その他(純額)	10,747	10,788
有形固定資産合計	79,602	80,034
無形固定資産	2,567	2,614
投資その他の資産	5,204	5,202
固定資産合計	87,373	87,851
資産合計	119,184	119,443
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,765	7,346
短期借入金	17,687	17,873
未払法人税等	2,108	924
賞与引当金	1,083	662
役員賞与引当金	28	-
厚生年金基金解散損失引当金	49	49
その他	7,817	9,464
流動負債合計	36,539	36,321
固定負債		
長期借入金	4,598	4,271
退職給付に係る負債	6,126	6,099
厚生年金基金解散損失引当金	224	212
その他	7,080	7,004
固定負債合計	18,030	17,587
負債合計	54,570	53,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,547	6,547
資本剰余金	6,466	6,466
利益剰余金	43,469	44,332
自己株式	△10	△10
株主資本合計	56,472	57,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266	193
退職給付に係る調整累計額	△217	△198
その他の包括利益累計額合計	48	△5
非支配株主持分	8,093	8,205
純資産合計	64,614	65,535
負債純資産合計	119,184	119,443

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業収益	26,866	29,692
営業原価	23,888	26,278
営業総利益	2,977	3,414
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△0	2
役員報酬	157	172
給料及び手当	138	172
賞与引当金繰入額	26	33
役員賞与引当金繰入額	6	-
退職給付費用	6	8
その他	329	532
販売費及び一般管理費合計	663	922
営業利益	2,313	2,491
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	30	32
助成金収入	0	2
売電収入	121	119
雑収入	101	120
営業外収益合計	254	275
営業外費用		
支払利息	42	38
売電原価	61	59
雑損失	23	23
営業外費用合計	127	122
経常利益	2,440	2,644
税金等調整前四半期純利益	2,440	2,644
法人税、住民税及び事業税	881	896
法人税等調整額	△111	△28
法人税等合計	770	867
四半期純利益	1,669	1,777
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,449	1,528
非支配株主に帰属する四半期純利益	220	249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	△77
退職給付に係る調整額	18	25
その他の包括利益合計	43	△52
四半期包括利益	1,713	1,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,483	1,474
非支配株主に係る四半期包括利益	229	250

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	13,572	13,293	26,866	-	26,866
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48	488	537	△537	-
計	13,620	13,782	27,403	△537	26,866
セグメント利益	1,564	747	2,311	2	2,313

(注)1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	16,376	13,316	29,692	-	29,692
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	485	530	△530	-
計	16,420	13,802	30,223	△530	29,692
セグメント利益	1,835	654	2,489	2	2,491

(注)1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。